

指定ごみ袋制度

引き続き、ご協力をお願いします

ごみ減量・再資源化促進に効果がでています

市は、4月から「指定ごみ袋制度」を導入し、分別排出の徹底や再資源化の促進を図っています。制度導入後の7月の収集量(※)は、昨年7月と比べ、生活系「もやすごみ」の排出量は減少、再資源化できる「その他プラ」、

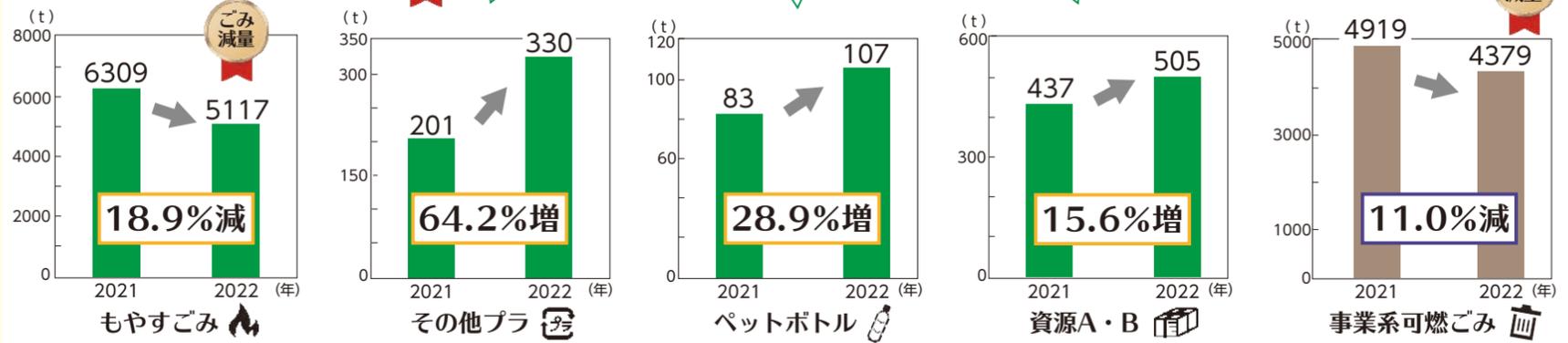
「ペットボトル」、「資源A・B」の回収量は増加しており、制度導入の効果が確認できています。市民の皆さんには、引き続きごみの減量と再資源化へのご協力、制度へのご理解をお願いします。

(※) 6月末までは指定ごみ袋以外で出されたごみも収集する暫定期間を設定

問 美化企画課 (0798・35・8653)

7月の排出量比較

再資源化促進 "分ければ資源、混ぜればごみ" 資源の回収量が増えました!



9月10日は下水道の日

再確認!

下水道の役割・正しい使い方

「下水道の日」は、昭和36年(1961年)に下水道の普及を図ることを目的に、また、下水道の大きな役割の1つの「雨水の排除」を念頭に、台風シーズンの9月10日に定められました。下水道の役割を再確認し、正しく管理・使用しましょう。(イラストの出典:日本下水道協会HP)

私たちの生活を支えています

下水道は、見えないところで私たちの安全・安心で快適な生活を支えています



まちを清潔にする

家庭から出る汚れた水(汚水)は地下の下水道を通して処理場に運ばれ、まちが清潔に保たれます

資源を作る

下水の処理で発生する污泥等を活用し、再エネルギー化に取り組んでいます

浸水から守る

雨水を速やかに排除し、まちを浸水から防ぐ役割を担っています

環境を守る

汚水は下水処理場でさまざまな処理を行い消毒し、川や海に戻します

下水道は日頃から正しく使いましょう

- 油類を流さない**
油は冷えると固まる性質があり、排水口にそのまま流すと、排水管や下水道管が詰まりやすくなります。油は新聞紙等で吸い取り、もやすごみで捨てましょう
- ビニール片や割りばし、つまようじを流さない**
これらを流すと、排水管の中でひっかかり、詰まりの原因になります。適切に分別してごみとして捨てましょう
- 髪の毛を流さない**
髪の毛は下水道管のつなぎ目に引っかかったり、他の汚物と絡まり、詰まりやすくなります。目皿などで対策しましょう
- 熱湯を流さない**
排水管には高温に弱い材質が使われている場合があり、熱湯により変形する可能性があります。冷ましてから流しましょう
- 落ち葉やたばこの吸い殻等を排水溝に捨てない**
排水溝が詰まり雨水が流れにくくなると、大雨時に道路が冠水します。落ち葉等は、排水溝に捨てないでください
- 紙おむつやティッシュ、ペット用猫砂を流さない!**

問 下水計画課 (0798・32・2264)

問 下水管理課 (0798・32・2262) HP 35129742

収穫作業は大変ですが、みんな自然と笑顔になっていくようです。都市部にありながらも、自然の恵みにかざれていることを感じられるまち、そんな西宮市を目指していきたいと思ひます。



▶ 稲刈りの様子(2018年撮影)

そうした中で、地域と一緒に取り組んでいる平木小学校では、中庭に作られた田んぼ(平木っ子の田んぼ)で春には田植え、そして秋には稲刈りを行っています。地域の農家である松本源信さんのご協力によって約20年前から毎年行われており、田植えの経験がない子供たちにとっては、またとない学びの機会になっています。毎日食べるお米作りが、実はとっても大変なこと、そして日本の食料自給率が低いこと、収穫が自然に左右されることなどを、体験を通じて学ぶことができている。本当にありがたいことと思ひます。

朝晩に秋の気配を感じる季節となりました。そして秋は実りの季節、稲などの多くの作物が収穫を迎える季節です。市内の学校では、学校内の敷地を利用してさまざまな作物が栽培されています。子供たちにとって、こうしたリアルな学びは、食の大切さを感じる上でとても重要な機会となっていると思ひます。

石井市長の
てくてく句
歳時記

学び舎に
子等の育てし
稻香る

西宮市長 石井登志郎

今月の一句!